

巡回きこえとことばの学習会

今年度は本巣市、各務原市、二町（岐南町・笠松町）にて、地域の教職員や保護者の方を対象に「きこえとことばの学習会」を実施しました。当校職員による「きこえ」についての講話に加えて、愛知教育大学の岩田 吉生先生を講師に招き、「きこえにくさへの理解とことばの支援」という題目で、聴覚障がい児のきこえについて、就労するにあたり大切なこと、ことばの支援の仕方、自立に向けてなど、幅広くご講話いただきました。

また、理研産業株式会社補聴器センターの方にもお手伝いいただき、参加者の方々が補聴器に触れる機会も設けました。



★参加者の感想★

【聴覚障がいについて】

- ・講話を聞いて、社会や企業から求められる力や、そのために小中学校でどんな学びが必要なのかが分かった。
- ・「聞こえること」と「分かること」は違うという話にとっても納得できた。
- ・実際にロジャーや補聴器を体験することで、使った感じや聞こえ方を知ることができ、新しい発見があった。

【特別支援教育について】

- ・苦手なことを自分で理解し、他者に説明し、必要な環境調整をしていく力をつけていくために、有効な言葉掛けや支援、教材準備をしたいと思った。
- ・ユニバーサルデザインの授業についても学ぶことができてよかった。

【教育全般について】

- ・子どもたちが普段目にしていること、聞いていることを、「自分ごと」として学べるような授業をしたいと思った。
- ・基本的な支援は、誰にとってもプラスになると感じた。



他にも、
たくさんのご感想を
いただきました！

みみの助